

デジタルフォレンジックツール

Analytics Enterprise

複雑な手動分析を不要にし 実行可能なインテリジェンスを短時間で発見

犯罪に係るケースは、発生後48時間を経過すると解決する機会が半分になるため、捜査チームは早急に作業する必要があります。Analytics Enterpriseは、手作業で時間のかかるデータ管理作業を不要にし、分析プロセスを自動化し、捜査作業を一元化する完全なエンドツーエンドのデジタルフォレンジックワークフローを提供します。

最先端の機械学習アルゴリズムで、分析を簡素化し、高速化して、重要な証拠を発見

Analytics Enterpriseは最先端のニューラルネットワークベースの機械学習アルゴリズムを使用しているため、すべてのデジタル分析を簡素化し、高速化して、より短時間で重要な証拠を発見できます。フォレンジック業務担当者、探偵、捜査官、分析担当者、検察官、外部の専門家など、数十人または数百人のユーザが動的にアクセスし、分析し、共同作業をリアルタイムで行うことができます。

分析プロセスを自動化



利点 1 複雑な手動分析を不要に

→ テキスト分析

テキストを含む画像データから、名前、住所、場所などの情報を複数の言語で取得することができます。

→ メディア分析

児童労働搾取、武器、金銭、薬物、裸体像などの主要カテゴリに関連する未知の画像やビデオクリップを自動的に検出します。関連する人物も顔認識機能ですばやく検索して識別します。

→ ハッシュデータベースの統合

Project VIC、CAIDおよびその他の定義済みのハッシュ値データベースと統合し、既知の有害な画像は自動識別され、カテゴリ別に分類されます。

→ タイムラインと地図解析

容疑者、イベント、事件に関わる相互的位置、通信フロー、パターンに基づいて地図とタイムラインを作成し、新しい捜査経路を見つけられます。

利点 2 プロセスの効率化

→ データ分析をスピードアップ

→ データ管理の合理化

→ チーム間で同時に協業

→ 証拠の完全性を保証

仕様	アーキテクチャ	クライアントサーバ (Web)
	ホスト	ウェブブラウザを実行しているすべてのコンピュータ
	性能要件	画像解析用の64G RAM、512G SSD、GPUカードを最低限とする。要件を満たすために完全にスケールブル
	ユーザ/ケース	無制限
	デジタル成果物	無制限の情報源(電話の抽出、通信事業者のデータ記録、コンピュータのデータ、Cloud Analyzerの抽出データなど)
ハードウェアアプライアンス	コンピュータ アプライアンス	